

平成 2 5 年度

決算の概要と主要な施策の実施状況

大 阪 府    茨 木 市

## 目 次

|                        |       |
|------------------------|-------|
| 1 会計別決算の状況 .....       | 1     |
| 2 一般会計決算の概要 .....      | 2～3   |
| 3 一般会計款別総括表【歳入】 .....  | 4     |
| 4 一般会計款別総括表【歳出】 .....  | 5     |
| 5 一般会計経費別総括表【歳出】 ..... | 6     |
| 6 基本政策別「主要な施策」実施状況 ..  | 7～27  |
| 7 主要な財政指標 .....        | 28    |
| 8 財政健全化判断比率 .....      | 29～31 |

# 会計別決算の状況

(単位:千円)

| 会計区分                         | 区 分       | 平成25年度      | 平成24年度      | 対前年度比<br>(H25-H24) | 増減率    |
|------------------------------|-----------|-------------|-------------|--------------------|--------|
| 一 般 会 計                      | 歳 入       | 86,835,864  | 81,802,865  | 5,032,999          | 6.2    |
|                              | 歳 出       | 85,020,735  | 80,051,024  | 4,969,711          | 6.2    |
|                              | 収 支       | 1,815,129   | 1,751,841   | 63,288             | -      |
|                              | 翌年度への繰越財源 | 867,715     | 930,287     | △ 62,572           | -      |
|                              | 実質収支      | 947,414     | 821,554     | 125,860            | -      |
| 財 産 区<br>特 別 会 計             | 歳 入       | 5,543,418   | 5,647,838   | △ 104,420          | △ 1.8  |
|                              | 歳 出       | 124,730     | 167,166     | △ 42,436           | △ 25.4 |
|                              | 実質収支      | 5,418,688   | 5,480,672   | △ 61,984           | -      |
| 国 民 健 康 保 険<br>事 業 特 別 会 計   | 歳 入       | 28,324,623  | 27,148,258  | 1,176,365          | 4.3    |
|                              | 歳 出       | 28,186,430  | 27,018,973  | 1,167,457          | 4.3    |
|                              | 実質収支      | 138,193     | 129,285     | 8,908              | -      |
| 後 期 高 齢 者 医 療<br>事 業 特 別 会 計 | 歳 入       | 3,129,231   | 2,990,565   | 138,666            | 4.6    |
|                              | 歳 出       | 3,019,598   | 2,881,572   | 138,026            | 4.8    |
|                              | 実質収支      | 109,633     | 108,993     | 640                | -      |
| 介 護 保 険<br>事 業 特 別 会 計       | 歳 入       | 14,292,046  | 13,467,216  | 824,830            | 6.1    |
|                              | 歳 出       | 14,007,922  | 13,245,595  | 762,327            | 5.8    |
|                              | 実質収支      | 284,124     | 221,621     | 62,503             | -      |
| 公 共 下 水 道<br>事 業 特 別 会 計     | 歳 入       | 8,479,900   | 7,718,013   | 761,887            | 9.9    |
|                              | 歳 出       | 8,460,612   | 7,671,417   | 789,195            | 10.3   |
|                              | 収 支       | 19,288      | 46,596      | △ 27,308           | -      |
|                              | 翌年度への繰越財源 | 8,436       | 36,233      | △ 27,797           | -      |
|                              | 実質収支      | 10,852      | 10,363      | 489                | -      |
| 合 計                          | 歳 入       | 146,605,082 | 138,774,755 | 7,830,327          | 5.6    |
|                              | 歳 出       | 138,820,027 | 131,035,747 | 7,784,280          | 5.9    |
|                              | 収 支       | 7,785,055   | 7,739,008   | 46,047             | -      |
|                              | 翌年度への繰越財源 | 876,151     | 966,520     | △ 90,369           | -      |
|                              | 実質収支      | 6,908,904   | 6,772,488   | 136,416            | -      |

# 一般会計決算の概要

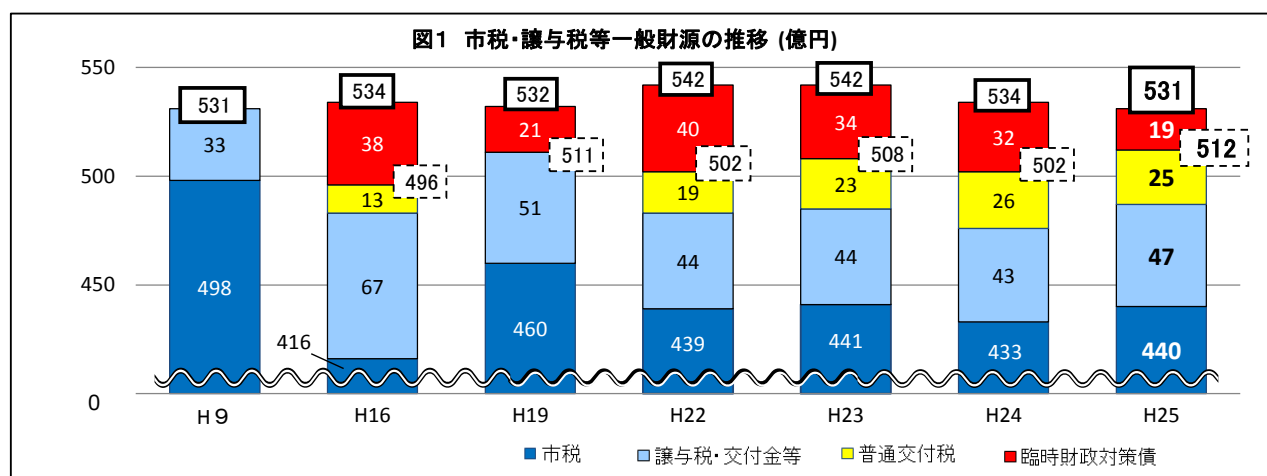
事業の見直しや職員給をはじめとする経常経費の節減に加え、「地域の元気臨時交付金」等の国の財源を有効活用し、「市民サービスの充実」と「財政の健全性の確保」を図る！！

## (1) 一般会計決算額

| 《歳入決算額》 | 《歳出決算額》 | 形式収支   | 繰越財源  | 実質収支                   |
|---------|---------|--------|-------|------------------------|
| 868.4億円 | 850.2億円 | 18.2億円 | 8.7億円 | 9.5億円                  |
|         |         |        |       | (うち財政調整基金積立額)<br>4.7億円 |

## (2) 税等一般財源の状況

◎赤字補てん債(臨時財政対策債)の発行により税等一般財源を確保



25年度の市税収入は、景気上昇等により法人市民税が増加したほか、据置き年度の2年目となることから固定資産税も増加し、総額で7億円増の440億円となりました。また、譲与税や地方交付税を合わせた税等一般財源も10億円増の512億円となりました。

しかし、安定的な財政運営を行うには530～540億円の一般財源が必要で、その確保には臨時財政対策債(財源不足を補てんする借金)の発行に頼らざるを得ない厳しい状況が続く中、後年度の財政負担を考慮し、25年度は臨時財政対策債の発行額を13億円抑制しました。

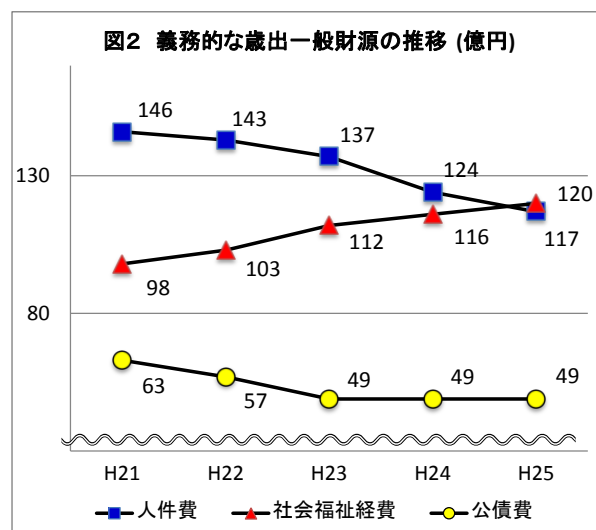
現在、景気は回復傾向にありますが、消費税の改定による影響など不確定な状況が予測され、今後も臨時財政対策債を除く税等一般財源で財政運営を行うことが困難な厳しい状況が続くものと思われます。

## (3) 義務的な歳出一般財源(人件費、社会福祉経費、公債費)の推移

◎増加する社会福祉経費、低い水準にある人件費、公債費

義務的な経費である職員給等の人件費や生活保護費・医療費などの社会福祉経費、借金の償還費である公債費に、市税等の一般財源がどれだけ使われたのかを示しており、一般財源が伸び悩む中、これら義務的な経費の増加は、財政運営を圧迫する要因となります。

社会福祉経費が、高齢化の進展などに伴い増加する一方、適切な市債(借金の借入)の活用や、職員数・職員給の適正化等により、経常経費である公債費及び人件費の抑制に努めてきました。

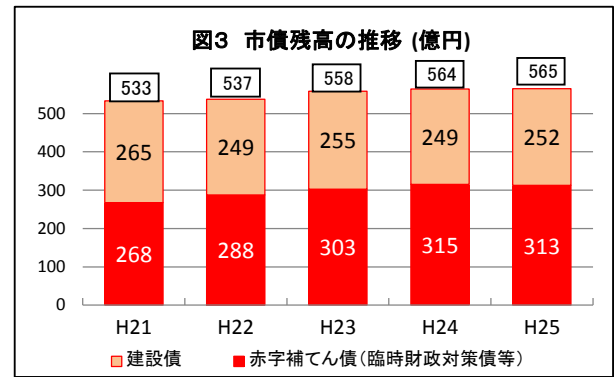


#### (4) 市債、基金の状況

◎後年度の負担となる市債残高はここ数年増加

市債は市の借金であり、大規模な建設事業の財源として借り入れる建設債と、財源不足を補うための赤字補てん債（臨時財政対策債など）があります。

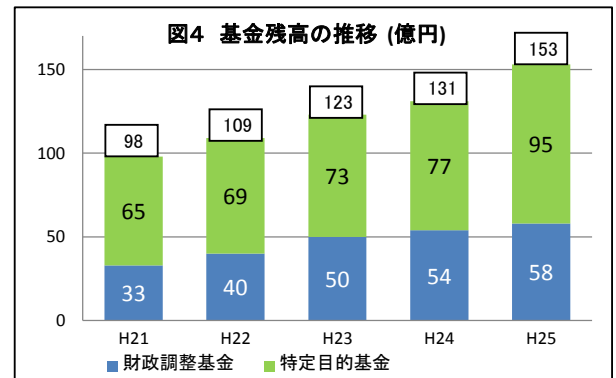
市債の発行については、将来の財政負担を考慮した適切な活用を基本に、25年度は臨時財政対策債の発行額を抑制しましたが、ここ数年、市債残高は増加しており、このままの状況が続くと、今後の財政運営を圧迫する要因となることが予想されます。



◎財政調整基金及び特定目的基金残高はともに着実に増加

基金は市の貯金であり、その中でも財政調整基金は、災害等の予期せぬ需要や急激な財源不足に備える法令で設置を義務付けられている基金です。残高については、21年度以降、基金を取り崩さずに事業を執行し、決算剰余金等を着実に積み立てた結果、25年度末の残高は58億円となり、着実に増加しています。

また、駅周辺再整備及び衛生処理施設や文化施設の整備などを目的として積み立てる特定目的基金については、25年度は18億円を積み立て、残高は95億円となりました。

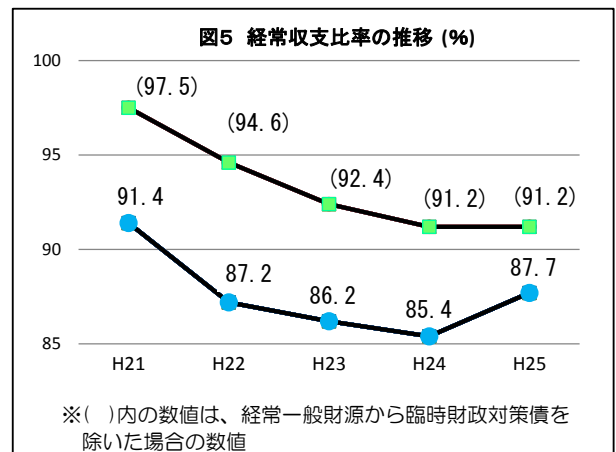


#### (5) 経常収支比率の状況

◎弛まぬ「やりくり」の継続により、財政構造の弾力性を維持

財政の余裕度（数値が低いほど、財政構造に弾力性があること）を示す経常収支比率において、茨木市は大阪府内では良い数値を維持しています。それは、人件費や公債費等の抑制と事業の見直し等による経常経費の節減などの「やりくり」に努めてきた結果によるものです。

なお、25年度は2.3%悪化しましたが、これは臨時財政対策債の発行を13億円抑制したためで、経常一般財源から臨時財政対策債を除いた数値は前年度と同じ91.2%で、財政構造の弾力性は昨年度と同水準を維持しています。



#### (6) 「今」と「将来」に必要な市民サービスを充実するとともに財政の健全性の確保を図る

歳入では、市税収入の回復により税等一般財源は増加したものの、歳出ではそれ以上に社会福祉経費や物件費が増加する厳しい財政環境の中、事業の見直しや職員給をはじめとする経常経費の節減に加え、国の「地域の元気臨時交付金」の有効活用(※)などにより、福祉や教育施策など「今」必要なサービスの充実を図るとともに、「将来」の活力あるまちの推進に向けた事業を実施しました。また、将来の財政負担を考慮し、基金の充実や起債の抑制を図ることにより財政の健全性の確保を図りました。(※27ページ参照)

##### 1. 「今」必要なサービスの充実

- 保育所の建設補助や待機児童保育室の整備等による子育て支援策の推進
- 小児救急の広域化や予防接種の定期接種化等による保健医療施策の充実
- 小中学校の耐震補強や専門支援員・学校図書館支援員の配置等による学校教育環境の向上
- 自主防災組織の育成、屋外拡声器付き防災行政無線の整備等による防災対策の強化

##### 2. 「将来」の活力あるまちの推進

- 道路・街路・公園整備等による都市基盤整備の推進
  - ・立命館大学開学に向けた周辺整備（駅前広場整備、歩道整備、区画道路整備等）
  - ・まちの発展を支える道路整備（茨木松ヶ本線、西中条奈良線整備等）
  - ・(仮称)JR総持寺駅の整備

##### 3. 将来の財政負担を考慮し「財政の健全性」の確保

- 各種基金の充実（財政調整基金・駅周辺再整備基金・文化施設建設基金・衛生処理施設整備基金）
- 赤字補てん債（臨時財政対策債）の発行額を抑制

# 歳入款別総括表（前年度比）

（単位：円、％）

| 区 分                       | 決 算 額          |       |                | 増 減 額              | 増 減 率  |
|---------------------------|----------------|-------|----------------|--------------------|--------|
|                           | 25 年 度         | 構 成 比 | 24 年 度         |                    |        |
| 1. 市 税                    | 43,977,672,528 | 50.6  | 43,347,259,997 | (注1) 630,412,531   | 1.5    |
| 2. 地 方 譲 与 税              | 464,622,004    | 0.5   | 484,708,670    | △20,086,666        | △ 4.1  |
| 3. 利 子 割 交 付 金            | 184,250,000    | 0.2   | 187,125,000    | △2,875,000         | △ 1.5  |
| 4. 配 当 割 交 付 金            | 268,145,000    | 0.3   | 145,031,000    | (注2) 123,114,000   | 84.9   |
| 5. 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金  | 412,066,000    | 0.5   | 33,495,000     | (注3) 378,571,000   | 1130.2 |
| 6. 地 方 消 費 税 交 付 金        | 2,507,453,000  | 2.9   | 2,529,005,000  | △21,552,000        | △ 0.9  |
| 7. ゴルフ場利用税交付金             | 97,236,243     | 0.1   | 89,868,912     | 7,367,331          | 8.2    |
| 8. 自 動 車 取 得 税 交 付 金      | 228,566,000    | 0.3   | 249,807,000    | △21,241,000        | △ 8.5  |
| 9. 地 方 特 例 交 付 金          | 224,254,000    | 0.3   | 230,268,000    | △6,014,000         | △ 2.6  |
| 10. 地 方 交 付 税             | 2,758,841,000  | 3.2   | 2,838,635,000  | (注4) △79,794,000   | △ 2.8  |
| 11. 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金 | 50,474,000     | 0.1   | 51,634,000     | △1,160,000         | △ 2.2  |
| 12. 分 担 金 及 び 負 担 金       | 1,397,184,283  | 1.6   | 1,332,971,692  | 64,212,591         | 4.8    |
| 13. 使 用 料 及 び 手 数 料       | 2,271,039,858  | 2.6   | 2,249,128,887  | 21,910,971         | 1.0    |
| 14. 国 庫 支 出 金             | 18,739,324,011 | 21.6  | 14,309,568,539 | (注5) 4,429,755,472 | 31.0   |
| 15. 府 支 出 金               | 5,614,945,926  | 6.5   | 5,350,494,523  | (注6) 264,451,403   | 4.9    |
| 16. 財 産 収 入               | 124,223,742    | 0.1   | 266,135,478    | (注7) △141,911,736  | △ 53.3 |
| 17. 寄 附 金                 | 89,076,548     | 0.1   | 8,151,948      | (注8) 80,924,600    | 992.7  |
| 18. 繰 入 金                 | 12,788,000     | —     | 12,561,000     | 227,000            | 1.8    |
| 19. 繰 越 金                 | 1,340,840,729  | 1.5   | 1,369,674,328  | △28,833,599        | △ 2.1  |
| 20. 諸 収 入                 | 1,864,061,065  | 2.1   | 2,052,540,676  | △188,479,611       | △ 9.2  |
| 21. 市 債                   | 4,208,800,000  | 4.9   | 4,664,800,000  | (注9) △456,000,000  | △ 9.8  |
| 歳 入 合 計                   | 86,835,863,937 | 100.0 | 81,802,864,650 | 5,032,999,287      | 6.2    |

(注1) 固定資産税、法人市民税、たばこ税、個人市民税、都市計画税の増

(注2) 景気の上昇に伴い企業収益・株価が改善したことによる増

(注3) 軽減税率の廃止に伴う駆け込み売買及び株価の上昇に伴う取引の活発化等による増

(注4) 普通交付税の減

(注5) 社会資本整備総合交付金、地域の元気臨時交付金の増

(注6) 安心子ども基金特別対策事業費補助金の増、緊急雇用創出基金事業費補助金の減

(注7) 不動産売却収入の減

(注8) 三島救急医療体制充実寄附金の増

(注9) 臨時財政対策債、消防施設整備債の減、小中学校校舎整備債、市民開放施設整備債の増

# 歳出款別総括表（前年度比）

（単位：円、％）

| 区 分           | 決 算 額          |       |                | 増 減 額               | 増 減 率  |
|---------------|----------------|-------|----------------|---------------------|--------|
|               | 25 年 度         | 構成比   | 24 年 度         |                     |        |
| 1. 議 会 費      | 554,721,371    | 0.7   | 582,196,742    | △27,475,371         | △ 4.7  |
| 2. 総 務 費      | 7,645,972,875  | 9.0   | 6,193,641,298  | (注1) 1,452,331,577  | 23.4   |
| 3. 民 生 費      | 36,225,298,777 | 42.6  | 34,840,852,849 | (注2) 1,384,445,928  | 4.0    |
| 4. 衛 生 費      | 6,579,361,511  | 7.7   | 6,074,168,411  | (注3) 505,193,100    | 8.3    |
| 5. 労 働 費      | 27,989,567     | 0.0   | 22,621,318     | 5,368,249           | 23.7   |
| 6. 農林水産業費     | 287,064,791    | 0.3   | 363,282,394    | △76,217,603         | △ 21.0 |
| 7. 商 工 費      | 871,377,646    | 1.0   | 1,013,676,135  | (注4) △142,298,489   | △ 14.0 |
| 8. 土 木 費      | 15,493,671,085 | 18.2  | 11,808,239,015 | (注5) 3,685,432,070  | 31.2   |
| 9. 消 防 費      | 2,163,689,361  | 2.6   | 2,556,845,323  | (注6) △393,155,962   | △ 15.4 |
| 10. 教 育 費     | 10,170,028,842 | 12.0  | 11,452,253,191 | (注7) △1,282,224,349 | △ 11.2 |
| 11. 災 害 復 旧 費 | 61,858,560     | 0.1   | 33,405,792     | 28,452,768          | 85.2   |
| 12. 公 債 費     | 4,915,684,747  | 5.8   | 4,886,821,651  | 28,863,096          | 0.6    |
| 13. 諸 支 出 金   | 24,016,100     | 0.0   | 223,019,802    | (注8) △199,003,702   | △ 89.2 |
|               |                |       |                |                     |        |
| 歳 出 合 計       | 85,020,735,233 | 100.0 | 80,051,023,921 | 4,969,711,312       | 6.2    |

(注1) 機構改正に伴う増、パスポート事務事業の増

(注2) 保育所建設補助事業、障害者自立支援給付費、障害者通所給付費、  
私立保育所運営費負担金、待機児童保育室あゆみ整備事業、私立保育所運営補助金の増

(注3) 衛生処理施設整備等基金、環境衛生センター維持補修事業、予防接種指定管理料の増

(注4) プレミアム付商品券、企業立地促進奨励金、機構改正に伴う減

(注5) 市民開放施設整備事業、駅周辺再整備基金積立金、道路新設改良事業の増、  
双葉町駐車場用地取得事業、西河原公園防災公園街区整備事業の減

(注6) 消防救急デジタル無線整備事業の減

(注7) 機構改正に伴う減、小学校営繕事業、中学校営繕事業の減

(注8) 機構改正に伴う減

# 歳出経費別総括表（前年度比）

（単位：円、％）

| 経費別       | 決 算 額          |       |                | 増 減 額              | 増 減 率 |
|-----------|----------------|-------|----------------|--------------------|-------|
|           | 25 年 度         | 構成比   | 24 年 度         |                    |       |
| 1. 消費的経費  | 55,576,584,524 | 65.4  | 54,935,068,333 | 641,516,191        | 1.2   |
| 人件費       | 13,174,700,616 | 15.5  | 13,846,108,619 | (注1) △671,408,003  | △ 4.8 |
| 物件費       | 14,257,663,818 | 16.8  | 13,560,354,683 | (注2) 697,309,135   | 5.1   |
| 扶助費       | 22,645,400,162 | 26.6  | 22,243,983,547 | (注3) 401,416,615   | 1.8   |
| 補助費等      | 5,498,819,928  | 6.5   | 5,284,621,484  | (注4) 214,198,444   | 4.1   |
| 2. 投資的経費  | 14,689,910,975 | 17.3  | 11,949,767,346 | 2,740,143,629      | 22.9  |
| 維持補修費     | 1,226,417,898  | 1.4   | 1,251,896,313  | △25,478,415        | △ 2.0 |
| 普通建設事業費   | 13,408,841,127 | 15.8  | 10,668,589,683 | (注5) 2,740,251,444 | 25.7  |
| 災害復旧事業費   | 54,651,950     | 0.1   | 29,281,350     | 25,370,600         | 86.6  |
| 3. その他の経費 | 14,754,239,734 | 17.3  | 13,166,188,242 | 1,588,051,492      | 12.1  |
| 公債費       | 4,915,684,747  | 5.8   | 4,886,821,651  | 28,863,096         | 0.6   |
| 積立金       | 1,808,433,100  | 2.1   | 412,070,000    | (注6) 1,396,363,100 | 338.9 |
| 投資及び出資金   | —              | 0.0   | —              | —                  | 0.0   |
| 貸付金       | 430,520,000    | 0.5   | 350,000,000    | (注7) 80,520,000    | 23.0  |
| 繰出金       | 7,599,601,887  | 8.9   | 7,517,296,591  | (注8) 82,305,296    | 1.1   |
|           |                |       |                |                    |       |
| 歳出合計      | 85,020,735,233 | 100.0 | 80,051,023,921 | 4,969,711,312      | 6.2   |

(注1) 職員給与の減額措置等による給料等、衆議院議員選挙執行費の減

(注2) パスポート事務事業、公園等維持管理委託、参議院議員選挙執行費

道路付属物点検委託、予防接種指定管理料、福祉医療助成システム再構築の増

(注3) 障害者自立支援給付費、障害児通所給付費、私立保育所運営費負担金の増

(注4) 療養給付費負担金(後期高齢)、私立保育所運営補助金、三次救急診療業務負担金の増

生活保護費国費返還金、市税償還金の減

(注5) 市民開放施設整備事業、保育所建設補助事業の増、双葉町駐車場用地取得事業の減

(注6) 駅周辺再整備基金、文化施設建設基金、衛生処理施設整備等基金の増

(注7) 府三島救急医療センター貸付金の増

(注8) 国保会計繰出金、介護会計繰出金の増、下水会計繰出金の減



# 基本政策別「主要な施策」実施状況

| 事業名                      | 説明                                                                                                                          | 事業費             |        |        |
|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|--------|--------|
|                          |                                                                                                                             | 特定財源            | 一般財源   |        |
| 1 自律的な行財政運営による持続可能なまちづくり |                                                                                                                             | 【 2,064,953千円 】 |        |        |
| 行財政運営                    |                                                                                                                             |                 |        |        |
| 1. (仮称) 第5次総合計画の策定       | 平成27年度からの新たな総合計画の策定に向け、ワークショップ等の市民参画を得ながら、基本構想及び基本計画の案を作成する。                                                                | 15,854          |        | 15,854 |
| 2. 市政顧問の増員               | 市の重要課題の迅速かつ的確な解決に向け、専門的な立場から助言・指導を得るため、現在、3人の市政顧問を11人に増員する。                                                                 | 660             |        | 660    |
| 3. 市税のコンビニ収納の拡充          | 納税者の利便性向上及び収納率向上を図るため、コンビニ納付において現行の軽自動車税に、平成26年度（4月）から個人市民税、固定資産税、都市計画税を追加する。                                               | 13,545          |        | 13,545 |
| 4. 住民票・課税証明書等コンビニ交付の導入   | 市民の利便性向上のため、平成25年10月から住民票、印鑑証明、戸籍謄抄本、課税証明、納税証明のコンビニエンスストアでの交付を開始し、コンビニ交付手数料を、窓口交付と比べて引き下げる。<br>※窓口300円→200円（戸籍は窓口450円→400円） | 79,215          | 2,070  | 77,145 |
| 5. 住基カード発行手数料の無料化        | 住民票等のコンビニ交付の普及促進を図るため、平成25年6月から12月の間、現行500円の住基カード発行手数料を無料化する。                                                               | 23,427          |        | 23,427 |
| 6. パスポート発行事務の実施          | 市民の利便性の向上を図るため、平成25年6月から市役所内にパスポートセンターを設置し、パスポート発行事務等を実施する。場所：市役所本館1階市民課窓口前                                                 | 130,660         | 90,541 | 40,119 |
| 7. オリジナルナンバープレートの導入      | 市のPRと市民の郷土愛を育むため、50cc以下の原動機付自転車について、オリジナルナンバープレートを導入する。<br>（選択制・4,000枚限定）                                                   | 517             |        | 517    |

| 事業名                 |                                 | 説明                                                                                                                      | 事業費           |       |           |
|---------------------|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-------|-----------|
|                     |                                 |                                                                                                                         | 特定財源          | 一般財源  |           |
|                     | 8. 特定目的基金の充実                    | 将来の財政負担に備え、円滑な事業推進を図るため、駅周辺再整備基金、文化施設建設基金、衛生処理施設整備等基金への積立てを行う。                                                          | 1,800,000     | 3,309 | 1,796,691 |
| 広報広聴活動              |                                 |                                                                                                                         |               |       |           |
|                     | 9. 「声の広報」のデジタル化                 | 視覚障害者等に提供している広報誌の音訳版「声の広報」について、情報量の拡大と利便性の向上を図るため、現行のテープからCDへ移行する。                                                      | 1,075         |       | 1,075     |
| 2 文化振興と市民協働によるまちづくり |                                 |                                                                                                                         | 【 194,326千円 】 |       |           |
| 市民との協働              |                                 |                                                                                                                         |               |       |           |
|                     | 1. 地域自治組織結成等支援交付金の創設            | 地域自治組織の結成とその初期活動の支援のため、30万円を交付する。                                                                                       | 300           |       | 300       |
|                     | 2. 提案公募型公益活動支援補助金の本格実施          | 提案公募型公益活動支援補助金の本格実施する。<br>(自由テーマ型: 1 コース11事業、テーマ設定型: 4 テーマ)                                                             | 6,694         |       | 6,694     |
|                     | 3. 市民活動センターの充実                  | 市民活動への支援の充実を図るため、市民活動センターの開所日及び開所時間を拡充する。【決算総額 10,498】<br>・ 開所日 現行: 火～土曜日 ⇒ 拡充: 火～日曜日<br>・ 開所時間 現行: 10時から ⇒ 拡充: 9時30分から | 2,648         |       | 2,648     |
|                     | 4. 市制施行65周年記念表彰式の開催             | 市制施行65周年を記念して、功労者等に対する表彰式典を開催する。実施日: 5月3日 場所: 市民総合センター                                                                  | 2,409         |       | 2,409     |
| 文化振興                |                                 |                                                                                                                         |               |       |           |
|                     | 5. (仮称)文化振興ビジョンの策定              | 本市の文化施策の方向性を明らかにするために、(仮称)文化振興ビジョンの策定を進める。                                                                              | 3,980         |       | 3,980     |
|                     | 6. (仮称)阪急茨木市駅東口にぎわい創出複合施設の整備の検討 | 文化芸術ホールの建設について、阪急茨木市駅東口周辺を中心に、民間のノウハウを活用した整備方法等も視野に入れた検討を行う。                                                            | 1,890         |       | 1,890     |

| 事業名                          | 説明                                                                                | 事業費    |        |        |
|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|--------|--------|--------|
|                              |                                                                                   | 特定財源   | 一般財源   |        |
| 7. 若手芸術家育成事業                 | 若手芸術家の発掘・育成のため、コンテストを実行委員会形式により企画・実施する。また、市公共施設において作品を展示し、発表の場を提供する。              | 3,000  |        | 3,000  |
| 8. まちなかアート事業                 | 市内に設置されているまちなかアート（市内モニュメント）を市民に周知し、愛着心を持ってもらうため、パンフレットを作成するとともに、鑑賞ツアーを企画・実施する。    | 525    |        | 525    |
| 9. 立命館大学交響楽団茨木公演の実施          | 立命館大学茨木キャンパス開学に先駆け、市民との交流を深めるため、立命館大学交響楽団による公演を開催する。                              | 1,500  |        | 1,500  |
| スポーツ振興                       |                                                                                   |        |        |        |
| 10. 福井市民体育館トレーニング室の整備        | 地域スポーツの振興を図るため、福井市民体育館にトレーニング室を整備する                                               | 43,741 |        | 43,741 |
| 11. (仮称)桑原ふれあい広場(人工芝運動場等)の整備 | スポーツの推進等を図るため、(仮称)桑原ふれあい広場の人工芝運動場等の整備に向けた造成工事を行う。                                 | 92,446 | 40,000 | 52,446 |
| 交流・観光                        |                                                                                   |        |        |        |
| 12. 竹田市との歴史・文化等の交流協定の締結      | 本市と「歴史文化交流パートナーシップ宣言」を行った大分県竹田市との交流をさらに深めるため、文化・学術・歴史分野に重点を置いた交流協定を締結する。          | 487    |        | 487    |
| 13. 竹田市との文化交流企画展の開催          | 竹田市との文化交流を図るため、企画展「茨木城主中川清秀と中川氏」を文化財資料館で開催する。                                     | 1,807  | 1,800  | 7      |
| 14. 小豆島町姉妹都市交流25周年記念映画上映会の開催 | 香川県小豆島町との姉妹都市交流25周年を記念して、同町と関わりの深い映画の上映会、物産販売及び観光パネル展示を行う。<br>上映予定：「二十四の瞳」「八日目の蟬」 | 743    | 7      | 736    |
| 15. いばらき光の回廊事業（イルミネーション）     | 市内の観光振興やまちの魅力を創出するため、駅周辺や元茨木川緑地等を会場として、イルミネーションやミニライブ等のイベントを市民等との協働で開催する。         | 31,429 |        | 31,429 |

| 事業名                                              |                               | 説明                                                                                                                           | 事業費    |       |        |
|--------------------------------------------------|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------|--------|
|                                                  |                               |                                                                                                                              | 特定財源   | 一般財源  |        |
| 16.                                              | イメージキャラクターイベントの実施             | 市のPRと市民の郷土愛を育むため、茨木フェスティバルにおいて、市に関わるイメージキャラクターが集合し、周知を図るとともに観光特任大使委嘱等のイベントを行う。                                               | 727    |       | 727    |
| <b>3 心身ともにすこやかで、一人ひとりが尊重されるまちづくり 【407,259千円】</b> |                               |                                                                                                                              |        |       |        |
| <b>総合的な保健福祉施策の推進</b>                             |                               |                                                                                                                              |        |       |        |
| 1.                                               | 次期総合保健福祉計画に向けた実態調査の実施         | 次期「障害福祉計画」及び「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたり、広く市民の意見を反映するため、市民意向調査を行う。                                                            | 4,400  |       | 4,400  |
| <b>地域福祉・生活福祉</b>                                 |                               |                                                                                                                              |        |       |        |
| 2.                                               | 地域福祉ネットワークの拡充                 | 身近な地域での相談支援体制の確立を目指し、民生委員・児童委員が常駐して要援護者からの相談に応じる「相談窓口」の設置地区を拡充する。現行：9地区 → 拡充後：15地区<br>【決算総額 2,146】                           | 564    |       | 564    |
| 3.                                               | 生活保護受給者に対する就労支援の強化            | 就労意欲や就労能力の低い生活保護受給者に対する就労支援の強化を図るため、専門講師による個別セミナーや研修を実施する。                                                                   | 369    | 369   |        |
| <b>障害者福祉</b>                                     |                               |                                                                                                                              |        |       |        |
| 4.                                               | 障害者の就労支援の強化（スマイルオフィス、就労支援福祉金） | 就労を通じて障害者の社会参加を促進するため、一般就労が困難な障害者を短期間の市臨時職員として雇用する「スマイルオフィス」を市役所内（南館1階市民相談室前）に設置するとともに、市内就労継続支援B型事業所に通う障害者に対し「就労支援福祉金」を給付する。 | 11,128 | 83    | 11,045 |
| 5.                                               | 精神障害者相談支援センターの開設              | 支援が必要となる精神障害者が増加傾向にあることから、精神障害者の支援を専門とした精神障害者相談支援センターを開設する。                                                                  | 8,947  | 4,822 | 4,125  |
| 6.                                               | 障害者相談支援事業の拡充                  | 障害者の相談支援体制の強化を図るため、現行6か所の相談支援事業所を7か所に拡充する。【決算総額 61,467】                                                                      | 8,781  |       | 8,781  |
| 7.                                               | 障害者日常生活用具給付の拡充（紙おむつ給付）        | 重度障害者が日常生活を快適に過ごすことができるようにするため、紙おむつ給付事業の対象者を、身体障害者から常時紙おむつが必要な知的・精神障害者に拡充する。<br>【決算総額 59,837】                                | 6,433  | 3,466 | 2,967  |

| 事業名                                       | 説 明                                                                                                           | 事業費    |        |       |
|-------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|--------|-------|
|                                           |                                                                                                               | 特定財源   | 一般財源   |       |
| 高齢者福祉・介護保険                                |                                                                                                               |        |        |       |
| 8. 高齢者施策のあり方の検討                           | 老人福祉センター、街かどデイハウス、シルバー人材センター、老人クラブ等の今後の高齢者施策のあり方について、学識経験者や公募市民等で組織する審議会において総合的に検討する。                         | 959    |        | 959   |
| 9. 街かどデイハウスの拡充<br>（一般会計＋介護特会：地域支援事業費）     | 高齢者の健康づくりや介護予防など、高齢者の地域での自立生活を支えるため、街かどデイハウスを2か所拡充する。<br>現行：10か所 → 拡充後：12か所【決算総額 55,091】                      | 4,761  | 2,368  | 2,393 |
| 10. 老人クラブの活性化                             | 老人クラブの活性化及び自立化を促進するため、体操やパソコンなどの指導者を養成する「高齢者リーダー養成講習事業」を行う。                                                   | 864    |        | 864   |
| 11. 地域包括支援センター機能の強化<br>（介護特会：地域支援事業費）     | 相談件数の増加や複雑化する相談事例に対応するため、地域包括支援センターの専門職の増員等を行い、機能強化を図る。<br>【決算総額 157,171】                                     | 12,576 | 10,093 | 2,483 |
| 12. 地域密着型サービス施設整備補助事業                     | 大阪府介護基盤緊急整備等臨時特例基金を活用し、小規模多機能型居宅介護施設を整備する団体に対して補助金を交付する。<br>また、介護施設の防火対策強化のため、介護施設の火災報知設備を整備する団体に対して補助金を交付する。 | 30,296 | 30,296 |       |
| 13. 介護予防手帳の作成（はつらつパスポート）<br>（介護特会：地域支援事業） | 高齢者の健康寿命の延伸及び健康管理の意識付けを図るため、介護予防手帳（はつらつパスポート）を作成する。<br>内容：生活習慣等の情報、認知症チェックシート等                                | 1,286  | 1,126  | 160   |
| 14. 認知症地域支援推進員の配置                         | 認知症の人や家族が、状況に応じて必要な医療や介護等のサービスが受けられるよう、関係機関等へのつなぎや連絡調整等を担う認知症地域支援推進員を配置する。                                    | 6,405  | 6,405  |       |
| 15. 認知症サポーターステッカー等の交付<br>（介護特会：地域支援事業）    | 認知症サポーター養成講座修了者で地域のボランティアとして積極的に活動している方にステッカー等を配付し、認知症サポーターの存在を周知する。                                          | 911    | 797    | 114   |
| 16. ひとり暮らし高齢者等日常生活支援事業の拡充                 | 要介護1・2の比較的軽度の認定者のニーズに応えるため、事業対象者の範囲を拡充する。<br>【決算総額 75】<br>現 行：要介護3～5（市民税非課税）<br>拡充後：要介護1以上（課税者も対象）            | 28     |        | 28    |

| 事業名                          | 説 明                                                                                                                                                                       | 事業費     |        |         |
|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|--------|---------|
|                              |                                                                                                                                                                           | 特定財源    | 一般財源   |         |
| 市民の健康                        |                                                                                                                                                                           |         |        |         |
| 17. 救急医療の充実<br>(小児救急広域化等の実施) | 小児救急の広域化を図るため、三島二次医療圏（茨木市・高槻市・摂津市・島本町）の小児救急を、夜間休日応急診療所（高槻市）に集約するとともに、公益財団法人大阪府三島救急医療センターに参画し、安全・安心な救急体制の実現を目指す。                                                           | 141,676 | 80,520 | 61,156  |
| 18. 予防接種事業の拡充                | 市民の健康保持を図るため、予防接種を拡充する。<br>【決算総額 622,852】<br>＜主な内容＞<br>①子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの定期接種化に伴う自己負担の無料化、接種人数の増<br>②不活化ポリオの導入<br>H24年9月から不活化ワクチン及びH25年11月から4種混合が導入されたことに伴い、単価・接種回数増加 | 101,315 |        | 101,315 |
| 19. 予防接種事業の緊急対策              | 平成25年5月に大阪府が「風しん流行緊急事態」を宣言し、風しん予防接種の緊急助成制度を創設を受け、先天性風しん症候群の発生防止のための公費助成を実施する。<br>＜主な内容＞<br>19歳以上の市民で妊娠を希望する女性、妊婦の配偶者に対し、風しん又はMR予防接種の費用について、6,000円を上限として助成する。              | 7,994   | 3,997  | 3,997   |
| 20. 胃がんリスク検診の実施              | 胃がんの早期発見・治療に向け、ペプシノゲン胃検査に加え、ピロリ菌検査を追加する。                                                                                                                                  | 7,194   |        | 7,194   |
| 21. 肺がん検診機器の更新               | 円滑ながん検診を実施するため、検診用機器を更新する。<br>(胸部X線撮影装置、画像サーバ、読影機器、画像取込装置)                                                                                                                | 23,625  |        | 23,625  |
| 22. 茨木市新型インフルエンザ等対策審議会の設置    | 新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき茨木市新型インフルエンザ等対策行動計画策定等に係る専門的な事項を調査審議するため、審議会を設置する。                                                                                                   | 74      |        | 74      |
| 国民健康保険                       |                                                                                                                                                                           |         |        |         |
| 23. 保険料徴収率の向上と療養費の適正化（国保特会）  | 公平・公正な負担と収納率の向上を図るため、納期限が過ぎた世帯に納付案内を行うコールセンターを設置するとともに、柔道整復施術等の療養費の適正化に向けて、レセプト点検の強化を行う。                                                                                  | 26,114  |        | 26,114  |

| 事業名                            | 説 明                                                                                                                                                                                     | 事業費             |         |        |
|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|---------|--------|
|                                |                                                                                                                                                                                         | 特定財源            | 一般財源    |        |
| 人権・男女共同参画                      |                                                                                                                                                                                         |                 |         |        |
| 24. 相談機能の強化<br>(いのち・愛・ゆめセンター)  | 総合相談嘱託員のスキルアップや相談内容の充実を図るため、府の補助金を活用し、いのち・愛・ゆめセンター3館の相談事業を強化する。                                                                                                                         | 346             | 258     | 88     |
| 25. DV対策の強化                    | 増加傾向にある配偶者等からの暴力（DV）の発生を予防するため、市内中学校等にデートDV予防啓発冊子を配布し、啓発を行う。                                                                                                                            | 213             |         | 213    |
| 4 将来を担う子どもたちを育むまちづくり           |                                                                                                                                                                                         | 【 1,755,527千円 】 |         |        |
| 子育て支援                          |                                                                                                                                                                                         |                 |         |        |
| 1. こども医療費助成事業の拡充               | 平成25年7月から、現乳幼児医療費助成の対象を、小学校3年生以下の子どもから小学校6年生以下の子どもまでに拡大し、名称を変更する。【決算総額 710,928】                                                                                                         | 62,306          |         | 62,306 |
| 2. 乳幼児一時保育の定員拡充                | 子育ての負担軽減を図るため、子育て支援総合センター及び子育てすこやかセンターにおける乳幼児一時保育の定員を16人から21人に拡充する。【決算総額 30,177】                                                                                                        | 6,570           | 2,223   | 4,347  |
| 3. 未熟児養育医療費給付事業                | 母子保健法の改正に伴い、平成25年4月から府より権限移譲される未熟児養育医療費給付事業を実施する。                                                                                                                                       | 21,474          | 19,000  | 2,474  |
| 4. (仮称)茨木市次世代育成支援行動計画(第3期)の策定等 | 平成27年度施行予定の子ども・子育て支援新制度の運用に向けて、茨木市こども育成支援会議を設置するとともに、茨木市次世代育成支援行動計画(第3期)の策定及び子ども・子育て支援新制度管理システムの導入に着手する。                                                                                | 16,829          | 14,490  | 2,339  |
| 待機児童・保育所運営                     |                                                                                                                                                                                         |                 |         |        |
| 5. 保育所建設補助事業                   | 待機児童の解消を図るため、私立保育園の新設及び移転に係る建設費等へ補助を行う。※増加定員 290人(4園)<br>・さんすい学園移転新築 + 10人 H26. 2月開園<br>・Due南茨木ちとせ保育園 + 70人 H25. 10月開園<br>・花たちばな保育園 +130人 H25. 10月開園<br>・たんぼぼtriangle学園 + 80人 H26. 4月開園 | 521,695         | 430,130 | 91,565 |

| 事業名         |                      | 説明                                                                                                   | 事業費     |         |         |
|-------------|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|---------|---------|
|             |                      |                                                                                                      | 特定財源    | 一般財源    |         |
| 6.          | 認可外保育施設の開設           | 保育ニーズの高いＪＲ茨木駅周辺に開設する認可外保育施設に対し、運営補助を行う。<br>施設名：マリモ・スリー保育園（平成25年10月開設）                                | 9,031   |         | 9,031   |
| 7.          | 待機児童保育室の整備           | 待機児童の解消を図るため、旧学園町分室に「待機児童保育室あゆみ」を、市立西幼稚園の余裕教室を改修し「待機児童保育室のぞみ」を整備する。（平成26年4月開設）                       | 124,117 | 59,816  | 64,301  |
| 8.          | 私立保育所運営補助金の見直し       | 保育サービスを充実させるため、「運営補助（児童数割）」から、保育環境を充実させる事業に対して補助を行う「事業補助」に転換する。安心こども基金による保育士の処遇改善補助の創設に伴い、補助項目を追加する。 | 960,682 | 271,459 | 689,223 |
| 9.          | 公立保育所の改修             | 保育環境の向上を図るため、公立保育所の保育室の建具や壁紙等の改修を行う。                                                                 | 22,676  |         | 22,676  |
| 母子保健        |                      |                                                                                                      |         |         |         |
| 10.         | 不育症治療費助成の実施          | 不育症治療の経済的負担軽減を図るため、保険適用外の治療費について助成を行う。                                                               | 947     |         | 947     |
| 子ども・若者の社会参加 |                      |                                                                                                      |         |         |         |
| 11.         | 子ども・若者自立サポート事業補助金の創設 | ひきこもり等の状態にある子ども・若者の自立を図るため、相談等の支援を行う民間団体に対し、補助金を交付する。                                                | 587     | 587     |         |
| 子どもの居場所づくり  |                      |                                                                                                      |         |         |         |
| 12.         | 春日学童保育室の増築           | 春日学童保育室の児童数増加に対応するため、プレハブ教室の増築を行う。                                                                   | 8,613   |         | 8,613   |



| 事業名                      | 説 明                                                                                                                                                                                 | 事業費           |        |       |
|--------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|--------|-------|
|                          |                                                                                                                                                                                     | 特定財源          | 一般財源   |       |
| 5 産業の活性化と環境に配慮したまちづくり    |                                                                                                                                                                                     | 【 180,295千円 】 |        |       |
| 商工業振興                    |                                                                                                                                                                                     |               |        |       |
| 1. 産業振興アクションプランの推進       | 市内中小企業の振興と地域ブランドの推進を図るため、中小製造業への情報提供やビジネス交流サロン事業等を継続実施するとともに、農家と商工業者をつなぐ仕組みを構築するため、意見交換を行う座談会をモデル実施する。                                                                              | 5,618         |        | 5,618 |
| 2. 小売店舗改築（改装）・創業促進事業の拡充  | 商店街及び中心市街地のさらなる活性化を図るため、当該地域における小売業及び飲食業に対する補助金を拡充する。<br>【決算総額 9,686】<br>① 小売店舗改築（改装）事業補助金<br>既存店のリニューアルだけでなく、業種・業態転換、新規分野進出、新店出店も補助対象事業に追加<br>② 創業促進事業補助金<br>賃借料の補助期間を6か月から12か月に延長 | 1,842         |        | 1,842 |
| 3. 空き店舗実態調査事業            | 空き店舗の活用方策や事業者への支援施策の方向性を示すため、市内空き店舗の実態調査等を行う。                                                                                                                                       | 1,764         |        | 1,764 |
| 雇用促進・勤労者福祉               |                                                                                                                                                                                     |               |        |       |
| 4. 緊急雇用創出基金事業<br>[26頁参照] | 失業者の生活の安定と再就職の促進を図るため、府の基金を活用し、雇用創出基金事業を実施する。                                                                                                                                       | 42,068        | 42,068 |       |
| 農林業振興                    |                                                                                                                                                                                     |               |        |       |
| 5. ため池減災対策基礎調査等の委託       | 市内の農業用ため池の現状把握及び周辺の安全性を検討するために基礎調査を実施してため池台帳を作成するとともに、水防上重要なため池を選定する。                                                                                                               | 9,660         |        | 9,660 |
| 6. 狩猟免許取得支援事業補助金の創設      | イノシシ等の有害獣による農作物被害の減少を図るため、狩猟免許取得に対する支援を実施し、有害獣捕獲活動従事者不足を解消する。                                                                                                                       | 90            |        | 90    |
| 環境                       |                                                                                                                                                                                     |               |        |       |
| 7. 環境基本計画の策定             | 環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ長期的に推進するため、（仮称）第2次環境基本計画を平成25年度から2か年で策定する。                                                                                                                     | 3,465         |        | 3,465 |

| 事業名                    | 説明                                                                                                                    | 事業費    |      |        |
|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|------|--------|
|                        |                                                                                                                       | 特定財源   | 一般財源 |        |
| 8. 分別収集モデル事業           | さらなるごみの減量化と再資源化を図るため、新たな資源物の分別収集等の導入に向け、モデル地区を選定し検証を行う。<br>[資源物] 缶、びん、ペットボトル、古紙類に加え、新たに古布、化粧品びんを追加<br>[粗大ごみ] 小型・大型に区分 | 335    |      | 335    |
| 9. 資源物の持ち去り防止対策        | 資源物持ち去り行為の防止及び持ち去り行為者への指導強化を図るため、ごみ集積場所の防鳥ネットに啓発シートを設置するとともに、持ち去り行為を現認してから告発までの手続きについて整理する。                           | 1,466  |      | 1,466  |
| 10. 搬入ごみ検査用機器の導入       | ごみの減量化と搬入ごみの検査効率を向上させるため、産業廃棄物等の不適切ごみの搬入を防ぐ検査用機器を環境衛生センターに導入する。                                                       | 33,600 |      | 33,600 |
| 11. 省エネ・省CO2推進事業       | 地球温暖化対策実行計画の推進を図るため、市民、事業者、大学等と情報交換ができる「場」を設置するとともに、省エネコンテスト等を実施し、環境意識の向上を図る。                                         | 3,150  |      | 3,150  |
| 動物愛護                   |                                                                                                                       |        |      |        |
| 12. 飼い犬等避妊・去勢手術費補助金の拡充 | 動物愛護の推進を図るため、補助対象を飼い犬、飼い猫に加え、所有者不明猫を追加する。【決算総額 1,307】                                                                 | 27     |      | 27     |
| LED化の推進                |                                                                                                                       |        |      |        |
| 13. 街路灯のLED化           | 環境負荷の低減や節電を図るため、市街路灯のLED化を引き続き推進する。                                                                                   | 7,602  |      | 7,602  |
| 14. 市役所本館・南館照明のLED化    | 環境負荷の低減や節電を図るため、市役所本館1階及び本館南館3・4階の照明をLED照明に取り換える。                                                                     | 40,194 |      | 40,194 |
| 15. 元茨木川緑地照明のLED化      | 環境負荷の低減や節電を図るため、元茨木川緑地の照明施設の改修に伴い、照明灯のLED化を計画的に推進する。                                                                  | 8,590  |      | 8,590  |

| 事業名                   | 説 明                                                                                           | 事業費              |           |         |
|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-----------|---------|
|                       |                                                                                               | 特定財源             | 一般財源      |         |
| 消費者施策                 |                                                                                               |                  |           |         |
| 16. 消費生活相談事業の充実       | 平日利用が困難な相談者に対応するため、新たに第２・４土曜日の午前９時から正午も開所する。<br>また、国の交付金を活用し、バス車内アナウンス等による消費生活センターの周知等を引続き行う。 | 20,824           | 1,316     | 19,508  |
| 6 都市基盤の充実と安全・安心なまちづくり |                                                                                               | 【 10,830,895千円 】 |           |         |
| 都市計画                  |                                                                                               |                  |           |         |
| 1. 都市計画マスタープランの改定     | 第５次総合計画の策定と併せ、同計画で掲げる「まちづくりの将来像」の実現に向けた土地の利用と都市施設整備の方向性及び市民と共に進めるまちづくりの方向性等を検討する。             | 7,035            |           | 7,035   |
| 2. 広域幹線道路沿道の土地利用の検討   | 平成24年度に実施したアンケート調査等を踏まえ、本市の市街化調整区域の今後の土地利用のあり方について、住民や関係機関と協議・調整する。                           | 9,240            | 6,300     | 2,940   |
| 市街地のプロジェクト            |                                                                                               |                  |           |         |
| 3. 岩倉町地区道路整備事業        | 委 託、使用料<br>工 事、補 償、負担金                                                                        | 613,116          | 441,408   | 171,708 |
| 4. 市民開放施設整備事業         | 立命館大学と産・官・民の新たな交流拠点となる市民開放施設建設用地を取得し、施設整備費を負担する。                                              | 3,229,332        | 3,182,055 | 47,277  |
| 5. (仮称)ＪＲ総持寺駅整備事業     | 平成30年春開業予定の(仮称)ＪＲ総持寺駅の駅舎整備及び自由通路の整備にかかる経費を負担する。                                               | 348,182          | 339,150   | 9,032   |

| 事業名                      | 説明                                                                                                                            | 事業費     |         |         |
|--------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|---------|---------|
|                          |                                                                                                                               |         | 特定財源    | 一般財源    |
| 6. (仮称) J R 総持寺駅駐輪場用地の購入 | (仮称) J R 総持寺駅駐輪場施設の用地を購入する。                                                                                                   | 336,960 | 163,350 | 173,610 |
| 7. J R 茨木駅西口周辺整備の検討調査    | J R 茨木駅西口周辺に係る再整備について、平成24年度に引き続き、関係機関や住民等との協議を行い、具体化に向けた検討調査を行う。                                                             | 6,760   |         | 6,760   |
| 8. 駅周辺再整備基金の創設【再掲】       | 将来の J R 茨木駅周辺や阪急茨木市駅周辺等の再整備に備える「駅周辺再整備基金」を創設し、計画的な積立を行う。                                                                      | 800,000 | 191     | 799,809 |
| 北部地域のプロジェクト              |                                                                                                                               |         |         |         |
| 9. 山麓線4工区                | 用地                                                                                                                            | 29,732  |         | 29,732  |
| 10. 山麓線2工区・国文3号線         | 委託、工事、負担金                                                                                                                     | 227,109 | 162,145 | 64,964  |
| 11. ダム関連整備               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・桑原サニータウン線 工事</li> <li>・大岩南北線 委託</li> <li>・車作農業用施設整備 委託</li> <li>・車作マルコ道 工事</li> </ul> | 46,814  | 25,435  | 21,379  |
| 12. 北部地域の魅力向上に向けた基礎調査    | 市北部地域における今後の魅力向上戦略の策定に向け、観光面での現有資産の評価や、彩都や安威川ダム、新名神高速道路インターチェンジ等の波及効果を今後に活かすための基礎調査を行う。                                       | 3,675   |         | 3,675   |
| 13. 新名神関連整備              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・安元地区内線整備 委託</li> <li>・千提寺地区遊歩道整備事業 工事</li> </ul>                                      | 9,902   | 1,000   | 8,902   |
| 景観                       |                                                                                                                               |         |         |         |
| 14. 景観賞表彰及び記念講演会の開催      | 良好な景観の形成に寄与している建築物や活動に対して表彰を行い、景観に関する市民意識の高揚を図る。                                                                              | 670     |         | 670     |

| 事業名                    | 説 明                                                             | 事業費       |         |         |
|------------------------|-----------------------------------------------------------------|-----------|---------|---------|
|                        |                                                                 | 特定財源      | 一般財源    |         |
| 道路交通                   |                                                                 |           |         |         |
| 15. 茨木松ヶ本線             | 委託、借地料<br>工事、用地<br>補償、負担金                                       | 1,307,802 | 916,851 | 390,951 |
| 16. 西中条奈良線             | 委託、工事<br>用地、補償                                                  | 346,040   | 173,184 | 172,856 |
| 17. 畑田太中線（2工区）         | 補償                                                              | 15,050    |         | 15,050  |
| 18. 道路新設改良事業           | ・宿久庄二丁目安威一丁目線<br>工事、用地<br>補償<br>・天王一丁目宇野辺一丁目線<br>委託、工事<br>用地、補償 | 327,060   | 67,724  | 259,336 |
| 19. 東芝大阪工場跡地<br>周辺道路整備 | 負担金                                                             | 20,000    |         | 20,000  |
| 20. 橋梁の耐震化             | ・是推橋、巡礼橋1号<br>委託<br>・山下橋、朝日寺橋<br>工事                             | 40,535    | 29,913  | 10,622  |
| 21. 道路舗装の状況調査          | 委託                                                              | 9,450     | 6,270   | 3,180   |
| 22. 橋梁の詳細点検            | 委託                                                              | 12,451    | 12,451  | 0       |
| 23. 街路灯・道路標識<br>点検調査   | 委託                                                              | 36,750    | 34,155  | 2,595   |
| 24. 通学路安全対策            | 委託、工事                                                           | 41,339    | 41,339  | 0       |

| 事業名  |                              | 説明                                                                                                                     | 事業費       |           |         |
|------|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-----------|---------|
|      |                              |                                                                                                                        | 特定財源      | 一般財源      |         |
| 25.  | カーブミラー等の修繕等                  | 道路及び林道のカーブミラー等の腐食等による危険箇所について修繕等を行う。<br>カーブミラー（道路、林道）<br>ガードレール（林道）<br>区域標示板                                           | 48,940    |           | 48,940  |
| 公園緑地 |                              |                                                                                                                        |           |           |         |
| 26.  | 鮎川北公園整備事業                    | 工 事、負担金                                                                                                                | 62,655    |           | 62,655  |
| 27.  | 岩倉公園防災公園<br>街区整備事業           | 施設購入費                                                                                                                  | 571,252   |           | 571,252 |
| 下水道  |                              |                                                                                                                        |           |           |         |
| 28.  | 公共下水道整備事業<br>（下水道特会）         | 委 託 管渠設計、家屋調査<br>工 事 目垣、穂積、勝尾寺排水区等整備<br>負担金 水道管移設等<br>事務費<br>[主な内容]<br>目垣排水区第1工区築造工事<br>穂積排水区第2工区築造工事<br>松沢排水区ほか管渠実施設計 | 1,082,735 | 1,068,097 | 14,638  |
| 29.  | 特定環境保全公共<br>下水道事業<br>（下水道特会） | 委 託 管渠設計、家屋調査<br>工 事 車作排水区等整備<br>負担金 水道管移設等<br>事務費<br>[主な内容]<br>車作排水区第1工区築造工事<br>大岩排水区管渠実施設計その他委託                      | 86,260    | 80,510    | 5,750   |
| 30.  | 下水道改良事業<br>（下水道特会）           | 委 託 大池ポンプ場耐震補強等<br>工 事 大池ポンプ場設備更新、<br>大池排水区管渠更生工事等<br>[主な内容]<br>大池ポンプ場耐震補強設計及び再構築実施設計<br>大池ポンプ場受変電設備ほか更新工事             | 373,902   | 307,422   | 66,480  |
| 31.  | 合併処理浄化槽整備事業<br>（下水道特会）       | 委 託 合併処理浄化槽詳細設計、家屋調査等<br>工 事 67基<br>事務費<br>[主な内容]<br>下音羽地区ほか合併処理浄化槽設置その1工事                                             | 162,395   | 142,949   | 19,446  |

| 事業名                    | 説明                                                                                              | 事業費     |        |        |
|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|--------|--------|
|                        |                                                                                                 | 特定財源    | 一般財源   |        |
| 災害対策                   |                                                                                                 |         |        |        |
| 32. いのち・愛・ゆめセンターの耐震化   | いのち・愛・ゆめセンターの耐震化を行う。<br>委 託 （豊川・沢良宜・総持寺）<br>工 事 （沢良宜・総持寺）                                       | 59,119  | 47,199 | 11,920 |
| 33. 里山センターの耐震化         | 里山センターの耐震診断及び設計業務委託を行う。                                                                         | 3,988   |        | 3,988  |
| 34. 防災行政無線等の整備         | 災害時における迅速かつ正確な情報伝達を図るため、防災行政無線等の整備を進める。<br>Jアラート整備<br>デジタル化・職員参集システム                            | 114,765 | 67,694 | 47,071 |
| 35. 屋外拡声器付き防災行政無線の整備   | 災害時における避難勧告等の災害情報を迅速かつ正確に市民へ情報伝達するため、屋外拡声器付き防災行政無線を36か所の指定避難所（小学校及び河川近隣の中学校）に整備する。              | 113,925 | 62,596 | 51,329 |
| 36. 彩都西公園防災倉庫への備蓄品の整備  | 災害時に物資を迅速に輸送するため、彩都西公園内に設置された防災用倉庫に、毛布や簡易トイレなどの必要物品を整備する。                                       | 9,130   |        | 9,130  |
| 37. 自主防災組織の結成・育成       | 地域防災力の向上を図るため、自主防災組織の結成を促すとともに、結成された組織に資機材の配付や活動経費への補助を行う。                                      | 1,999   |        | 1,999  |
| 38. 災害時の行政機能維持         | 災害時における円滑な災害復旧業務を行うため、災害用多目的テント、非常食及び職員用防災服を整備する。                                               | 15,061  |        | 15,061 |
| 39. 洪水・内水ハザードマップの作成・配布 | 市民の防災意識向上のため、府の河川氾濫解析データをもとに洪水ハザードマップを改定するとともに、大雨による浸水が予想される地域を示した内水ハザードマップを作成し、一冊にまとめて全戸に配布する。 | 26,910  |        | 26,910 |
| 40. 被災者支援システムの構築       | 災害時における被災者への支援を円滑に行うため、被災者台帳の作成や被災者証明書発行等を管理する「被災者支援システム」を導入する。                                 | 3,513   |        | 3,513  |

| 事業名                     |                       | 説明                                                                                               | 事業費             |         |        |
|-------------------------|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|---------|--------|
|                         |                       |                                                                                                  |                 | 特定財源    | 一般財源   |
|                         | 41. 豪雨及び台風18号の災害復旧    | 平成25年8月豪雨及び平成25年9月に発生した台風18号により被災した施設等の災害復旧を行う。<br>[被災施設]<br>農林、道路<br>忍頂寺スポーツ公園<br>小学校（プール常設テント） | 64,429          |         | 64,429 |
| 消防・救急                   |                       |                                                                                                  |                 |         |        |
|                         | 42. 消防車両・機器の充実        | 消防体制の充実強化を図るため、消防車両や資機材を計画的に整備・更新する。                                                             | 203,431         | 160,000 | 43,431 |
|                         | 43. 緊急搬送支援システムの導入     | 高機能携帯端末（スマートフォン）を導入し、患者の症状に応じた病院の検索について、通信指令室を経由せず、現場で直接対応できる体制を確立し、救急活動の円滑化を図る。                 | 1,268           | 567     | 701    |
|                         | 44. 女性消防団員の登用         | 消防団の活性化を図るため、女性消防団員を登用し、火災予防及び救急応急手当に関する普及活動、自主防災訓練等での訓練指導を行う。                                   | 214             |         | 214    |
| 7 生きる力と夢を育む教育が充実したまちづくり |                       |                                                                                                  | 【 3,825,978千円 】 |         |        |
| 学校教育                    |                       |                                                                                                  |                 |         |        |
|                         | 1. 新学力・体力向上3ヵ年計画の策定   | 小・中学校における更なる学力向上を計画的に推進するため、現行の茨木っ子ステップアッププラン25の後継プランとして、平成26年度から向こう3年間の新学力・体力向上計画を策定する。         | 476             |         | 476    |
|                         | 2. 専門支援員の増員           | 中学校における学力向上の推進を図るため、現在各校2人配置している専門支援員を各校3人に増員する。<br>【決算総額 52,674】                                | 8,720           |         | 8,720  |
|                         | 3. 学校図書館支援員のモデル実施     | 小・中学校において、児童・生徒の思考力や表現力、想像力を高めて、豊かな学力の育成を図るため、モデル校5校（小学校3校、中学校2校）に学校図書館支援員を配置し、学校図書館の機能を充実させる。   | 3,336           |         | 3,336  |
|                         | 4. 中学校部活動外部指導者派遣事業の拡充 | 生徒の心身の発達及び興味・関心並びに個性の伸長に重要な役割を果たす部活動の充実を図るため、外部指導者の派遣を拡充する。【決算総額 15,120】                         | 6,111           |         | 6,111  |



| 事業名                         | 説明                                                                                                     | 事業費    |       |        |
|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------|--------|
|                             |                                                                                                        |        | 特定財源  | 一般財源   |
| 5. コミュニケーション教育事業の継続実施       | 自己表現や対話などのコミュニケーション能力を高め、言語力の育成及び学習意欲の向上を図るため、演劇を取り入れた授業を小・中学校において引き続き実施する。                            | 2,242  |       | 2,242  |
| 6. 土曜日学習教室の開催               | 中学校生徒の進路保障を図るため、重点支援モデル校区（豊川・北中学校区）を指定し、元教員と大学生等による中学3年生を対象とした学習教室を土曜日に開催する。                           | 620    |       | 620    |
| 7. 支援教育サポーターの増員             | 通常学級に在籍する発達障害などの生徒に対し、個別的教育的ニーズに応じた学習支援を充実するため、支援教育サポーターを中学校において5人増員する。【決算総額 51,197】                   | 5,023  | 2,708 | 2,315  |
| 8. スクールカウンセラーの増員            | 小学校における教員や保護者、児童に対する教育相談体制の充実を図るため、スクールカウンセラーの配置を1名拡充する。【決算総額 10,359】                                  | 1,581  |       | 1,581  |
| 9. 中学校給食の実施                 | 学校給食法に基づいた実施基準に沿って、デリバリー方式による選択制の給食を実施する。                                                              | 35,394 |       | 35,394 |
| 10. 小学校給食調理業務民間委託の拡充        | 小学校給食調理業務の民営化を推進する。（13校→14校）<br>新規委託校：穂積小学校<br>【決算総額 281,130】                                          | 16,170 |       | 16,170 |
| 11. 焼き物調理機の導入               | 小学校給食の献立を充実するため、焼き物調理機を新たに6校に導入する。（16校→22校）<br>新規導入校：春日、玉櫛、福井、玉島、葦原、白川小学校                              | 17,955 |       | 17,955 |
| 12. 大型プリンタの導入               | 茨木カンツリークラブからの寄附金を活用し、市教育センターに大判の教材印刷にも対応できる大型プリンタを設置する。                                                | 940    | 940   |        |
| 13. インクルーシブ教育システム構築事業のモデル実施 | 障害の有無にかかわらず、できるだけ同じ教室で共に学ぶ社会の形成に向けて、小中学校に作業療法士等を配置し、学習環境向上のための実践研究を行う。<br>モデル実施校（府委託事業）：南中、葦原小         | 1,620  | 1,620 |        |
| 14. 豊かな人間性を育む取組み推進事業のモデル実施  | 児童・生徒の自己肯定感や意欲を高め、豊かな人間性を育む取組みを実施するため、道徳教育の公開講座や道徳の授業づくりに関する研修会等を行う。<br>モデル実施校（府委託事業）：三島中、三島小、庄栄小、西河原小 | 200    | 200   |        |

| 事業名                   | 説 明                                                                                                                                                                                                                       | 事業費       |           |         |
|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-----------|---------|
|                       |                                                                                                                                                                                                                           | 特定財源      | 一般財源      |         |
| 学校施設                  |                                                                                                                                                                                                                           |           |           |         |
| 15. 小学校の耐震補強          | 小学校の耐震補強等整備を行う。<br>【平成24～25年度の継続事業】<br>茨木、春日、中条、大池、中津<br>【平成24年度からの繰越事業】<br>忍頂寺、清溪、福井、豊川、三島、春日丘、玉島、東、郡山、天王                                                                                                                | 2,647,513 | 2,633,644 | 13,869  |
| 16. 中学校の耐震補強          | 中学校の耐震補強等整備を行う。<br>【平成24～25年度の継続事業】<br>養精<br>【平成24年度からの繰越事業】<br>東、平田                                                                                                                                                      | 441,091   | 423,151   | 17,940  |
| 17. 小中学校・幼稚園施設の整備     | 学校園の教育環境の充実を図るため、外壁改修等改修設計委託、エレベーターの設置、プール改修工事等を行う。<br>[小学校]改修設計委託（東奈良、西、西河原、白川）<br>エレベーター委託(三島、中津、太田、白川)<br>エレベーター工事(三島、中津、太田、白川)<br>プール改修工事(天王)<br>[中学校]改修設計委託（北陵、太田、東雲、西）<br>[幼稚園]改修設計委託（水尾、玉島、東雲）<br>園庭芝生化等整備工事（玉島、北） | 189,475   | 23,137    | 166,338 |
| 18. 春日小学校校舎の増築        | 児童数の増加に対応するため、校舎を増築する。<br>【平成24年度からの繰越事業】                                                                                                                                                                                 | 110,900   | 104,000   | 6,900   |
| 19. 彩都西中学校校舎の増築       | 生徒数の増加が見込まれるため、校舎を増築する。<br>【平成24～25年度の継続事業】                                                                                                                                                                               | 250,321   | 153,151   | 97,170  |
| 文化財保護                 |                                                                                                                                                                                                                           |           |           |         |
| 20. 銅鐸鋳型出土40周年記念事業の実施 | 東奈良遺跡から銅鐸鋳型が出土し平成25年度が40周年となることから、平成24年度に作成した銅鐸鋳型3D映像等を活用した展示及び講演会を行う。<br>場所：文化財資料館                                                                                                                                       | 567       |           | 567     |
| 公民館                   |                                                                                                                                                                                                                           |           |           |         |
| 21. 公民館エレベーターの設置      | 利用者の利便性の向上を図るため、公民館にエレベーターを設置する。<br>委 託 実施設計・ボーリング調査<br>工 事 エレベーター設置工事(茨木)                                                                                                                                                | 49,947    | 30,000    | 19,947  |

| 事業名                             | 説明                                                           | 事業費    |        |        |
|---------------------------------|--------------------------------------------------------------|--------|--------|--------|
|                                 |                                                              | 特定財源   | 一般財源   |        |
| 青少年健全育成                         |                                                              |        |        |        |
| 22. 青少年野外活動センターユニバーサルキャンプエリアの整備 | 支援が必要な児童等、誰もが利用できる施設に改善を図るため、ユニバーサルデザインを取り入れた整備を行う。（第4キャンプ場） | 27,113 | 13,000 | 14,113 |
| 23. 青少年野外活動センター内施設の修繕           | 青少年野外活動センターのピクニックエリア木道及び展望台の腐食による危険箇所について修繕を行う。              | 8,663  |        | 8,663  |

## 平成25年度 緊急雇用創出基金事業

| 事業         |                                | 事業概要                                                                       | 新規雇用<br>(人) | 事業費<br>(千円) |
|------------|--------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|-------------|-------------|
| 緊急雇用創出基金事業 |                                | 離職を余儀なくされた失業者の一時的な雇用・就業機会の創出を図る事業や今後の成長が見込まれる分野において人材を育成し雇用に結びつける事業        |             |             |
| 1          | 介護保険サービス雇用創出事業                 | 介護保険施設等において、無資格の求職者を従事させ、その期間中、大阪府知事等が指定する介護福祉課程養成校等において、介護職員初任者資格の取得を目指す。 | 5           | 3,896       |
| 2          | 茨木市観光プロモーション事業                 | 観光プロモーション活動にかかる調査やイベントなど一連の業務に従事させることで、観光プロデューサーの育成を図り、市の魅力を市内外に発信する。      | 6           | 17,373      |
| 3          | バイオ・ライフサイエンス関連企業の事業拡大・人材育成支援事業 | 研究成果の実用化や新分野の研究、営業による販路拡大等を行う。                                             | 5           | 3,820       |
| 4          | 地元農産物の流通促進事業                   | 農家の生産物や出荷時期、市内飲食店等の取引内容やニーズについて調査し、農家と飲食店のマッチングを図る。                        | 2           | 539         |
| 5          | 中小企業販路開拓基盤整備事業                 | 広告宣伝による販路開拓を支援するため、支援先中小企業を開拓しホームページの作成等を行う。                               | 4           | 5,769       |
| 6          | 中小企業及び福祉サービス事業所BCPの策定支援事業      | 大規模災害時において、中小企業及び福祉サービス事業所の事業の速やかな復旧を図るため、市内企業等のBCP（事業継続計画）の策定支援等を行う。      | 4           | 6,345       |
| 7          | 新就労支援推進のモデル開発事業                | 障害者や未就職者等の就労支援のため、職場体験等の就労支援メニューの構築を図るとともに、新規雇用者のビジネススキル向上を図り、次の雇用につなげる。   | 5           | 4,326       |
| 計          |                                |                                                                            | 31          | 42,068      |

## 国の大型補正予算の対応について ～「地域の元気臨時交付金」の活用～

国の緊急経済対策として、公共事業の円滑な実施を目的に措置された「地域の元気臨時交付金」を有効に活用し、将来のまちの発展につながる主要プロジェクトや安全で安心、健やかな市民生活を確保する事業を実施しました。

### H24緊急経済対策の活用による国庫財源の確保

◎H25年度実施予定の国庫補助事業

| 国庫 | 一般財源<br>(市債) |
|----|--------------|
|----|--------------|



緊急経済対策の活用

◎H24年度3月補正予算に前倒し計上（H25年度へ繰越）

| 全体事業費＝50.5億円 (A) |                     |
|------------------|---------------------|
| 国庫<br>23.2億円     | 一般財源<br>(市債) 27.3億円 |
| ×0.7             |                     |
| 地域の元気臨時交付金 (B)   |                     |
| 16.2億円           |                     |
| H24⇒H25繰越事業へ     | 8.1億円               |
| H25単独事業へ         | 8.1億円               |

充当

### 主な緊急経済対策事業（H24⇒H25繰越額ベース） (A)

|                      | (単位：億円) 事業費 | 国庫   | 市負担  |
|----------------------|-------------|------|------|
| ・市民開放施設整備（立命館大学開学支援） | 26.7        | 13.0 | 13.7 |
| ・（仮称）JR総持寺駅整備        | 6.5         | 3.3  | 3.2  |
| ・茨木松ヶ本線整備            | 4.5         | 2.5  | 2.0  |
| ・歩道設置（通学路安全対策）       | 0.5         | 0.3  | 0.2  |
| ・街路灯・道路標識点検          | 0.4         | 0.2  | 0.2  |
| ・春日小学校校舎増築           | 1.0         | 0.2  | 0.8  |

### 「地域の元気臨時交付金」充当事業

(単位：億円) 充当額

#### ◎まちの発展につながる主要プロジェクト

|                      |     |
|----------------------|-----|
| ・市民開放施設整備（立命館大学開学支援） | 8.1 |
| ・茨木松ヶ本線整備            | 3.5 |
| ・西中条奈良線整備            | 0.6 |

#### ◎安心で安全、健やかな市民生活を確保する単独事業

|                                |     |
|--------------------------------|-----|
| ・防災行政無線再構築                     | 1.2 |
| ・消防車両はしご車更新                    | 1.6 |
| ・青少年野外活動センター（ユニバース・サカサガ・エリア）整備 | 0.1 |
| ・（仮称）桑原ふれあい広場整備                | 0.4 |
| ・公民館エレベーター設置                   | 0.3 |
| ・待機児童保育室あゆみ整備                  | 0.4 |

## 主 要 な 財 政 指 標

### 【普通会計ベースの財政指標】

#### ＜経常収支比率＞

人件費や公債費などの毎年支出する必要がある経費が、市税などの毎年収入される使途が特定されていない財源に占める割合。財政構造の弾力性を示す指標。

[経常的経費充当一般財源額/経常一般財源等額×100]

| 区 分                 | 平成25年度         | 平成24年度         | 平成23年度         |
|---------------------|----------------|----------------|----------------|
| 茨 木 市               | 87.7<br>(91.2) | 85.4<br>(91.2) | 86.2<br>(92.4) |
| 大阪府内都市平均<br>(除く政令市) |                | 94.9           | 95.4           |
| 類 似 団 体             |                | 90.5           | 90.2           |

(注) () 内は、臨時財政対策債を経常一般財源等額から除いて算出

#### ＜財政力指数＞

標準的に収入し得る一般財源である基準財政収入額を、標準的な行政運営を行うために必要な一般財源である基準財政需要額で除した数値。財政基盤の強さを図る指標。

[基準財政収入額/基準財政需要額]

| 区 分                 | 平成25年度 | 平成24年度 | 平成23年度 |
|---------------------|--------|--------|--------|
| 茨 木 市               | 0.93   | 0.94   | 0.96   |
| 大阪府内都市平均<br>(除く政令市) | 0.76   | 0.76   | 0.79   |
| 類 似 団 体             |        | 0.81   | 0.85   |

(注)各年度の数値は3か年平均

#### ＜公債費負担比率＞

地方債の返済に充てる経費に対する一般財源の割合。

[公債費/一般財源総額×100]

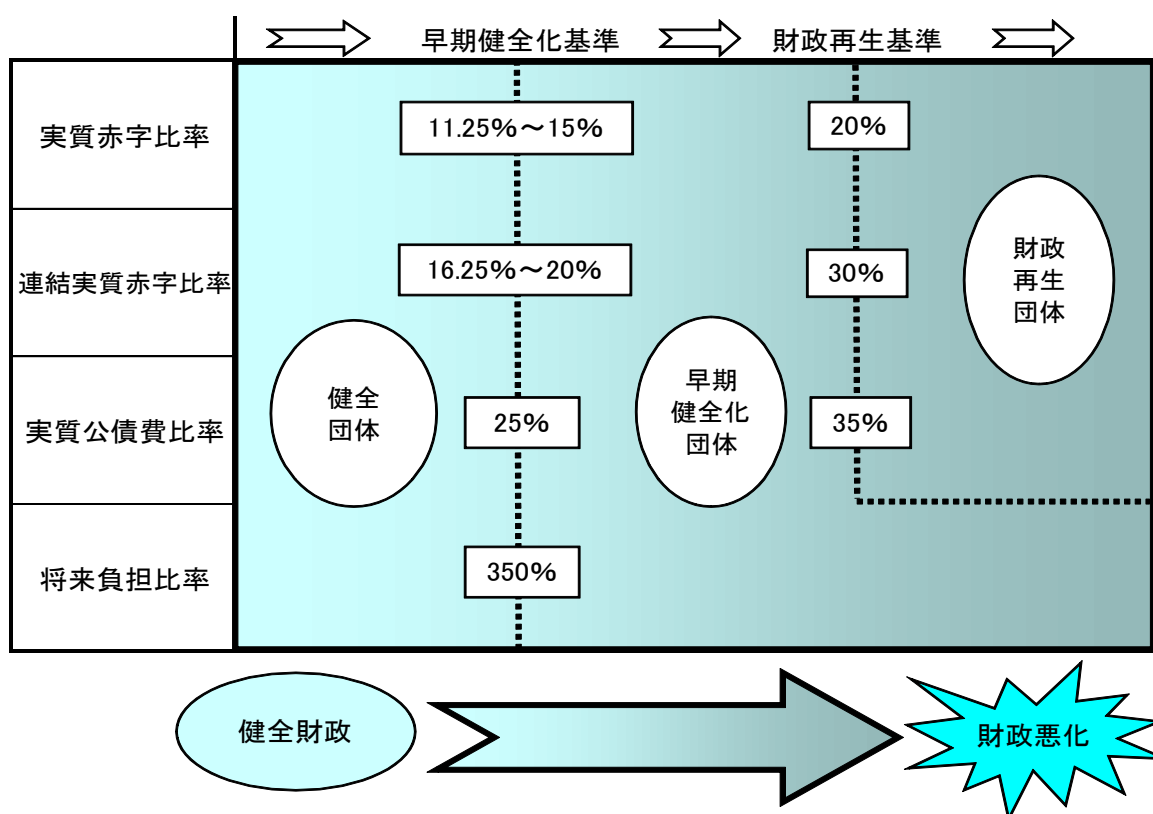
| 区 分                 | 平成25年度 | 平成24年度 | 平成23年度 |
|---------------------|--------|--------|--------|
| 茨 木 市               | 8.8    | 8.8    | 8.6    |
| 大阪府内都市平均<br>(除く政令市) |        | 14.3   | 14.7   |

## 地方公共団体の財政健全化判断比率

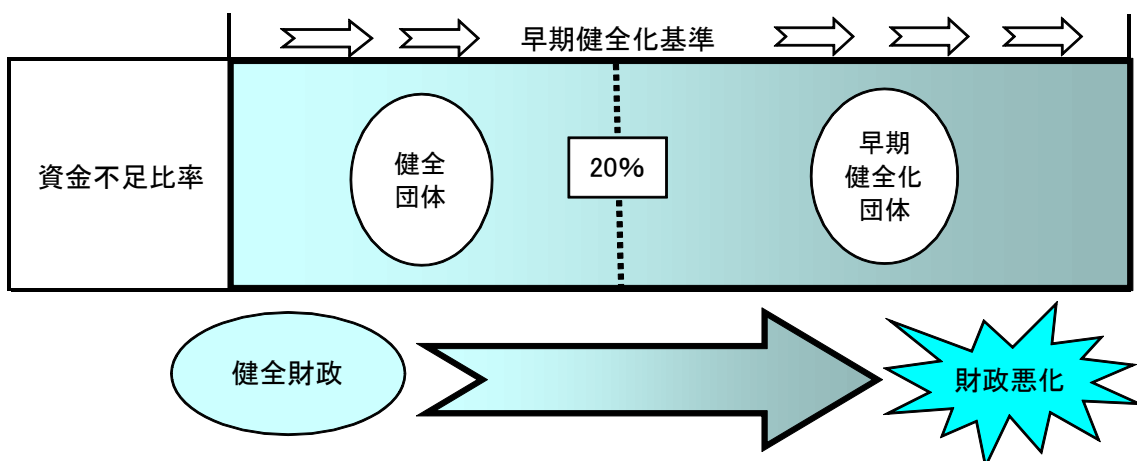
地方公共団体の財政を適正に運営することを目的として、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」が平成19年6月に公布されました。

これにより地方公共団体の財政健全化を判断する比率として、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率及び公営企業会計ごとに算定される資金不足比率が設けられ、公表が義務付けられています。各比率には健全化を判断する基準が設定されており、その基準を超える団体は、早期健全化団体あるいは財政再生団体となり、早期健全化計画、財政再生計画を策定し、早急に改善に取り組まなければなりません。

### 《財政健全化判断比率等の対象会計のイメージ》



### 《公営企業会計の経営健全化基準のイメージ》



## 【財政健全化指標】

### ＜実質赤字比率＞

福祉や教育、ごみの収集、道路・公園の整備などのサービスを市税収入で賄うことを基本とする一般会計の赤字額が標準財政規模に占める割合。

[一般会計における赤字額／標準財政規模×100]

| 区 分           | 平成25年度 | 平成24年度 |
|---------------|--------|--------|
| 実 質 赤 字 比 率 % | —      | —      |
| (参考)黒字額の比率    | △ 1.89 | △ 1.67 |
| 早 期 健 全 化 基 準 | 11.25  | 11.27  |

(注)赤字額がないため「-」で表示する。

### ＜連結実質赤字比率＞

市の全ての会計の収支（黒字や赤字）を合算した際の赤字額が標準財政規模に占める割合。

[市全体の赤字額／標準財政規模×100]

| 区 分           | 平成25年度  | 平成24年度  |
|---------------|---------|---------|
| 連結実質赤字比率%     | —       | —       |
| (参考)黒字額の比率    | △ 10.78 | △ 10.77 |
| 早 期 健 全 化 基 準 | 16.25   | 16.27   |

(注)赤字額がないため

### ＜実質公債費比率＞

地方債の償還金やそれに相当する準元利償還金（公営企業に対する繰出金や債務負担行為による支出のうち公債費に準ずるもの）が標準財政規模に占める割合。

[一般会計が負担した地方債等の償還額／標準財政規模×100]

| 区 分                 | 平成25年度 | 平成24年度 |
|---------------------|--------|--------|
| 実 質 公 債 費 比 率 %     | △ 1.6  | △ 1.0  |
| 大阪府内都市平均<br>(除く政令市) |        | 6.4    |
| 早 期 健 全 化 基 準       | 25.0   | 25.0   |

(注)各年度の数値は3か年平均



### ＜将来負担比率＞

地方債やそれに相当する借入金、退職手当支給予定額など、将来支払う負担すべき債務が標準財政規模に占める割合。

[一般会計が負担すべき地方債残高等の将来負担額／標準財政規模×100]

| 区 分                     | 平成25年度 | 平成24年度 |
|-------------------------|--------|--------|
| 茨 木 市                   | —      | —      |
| (参考) 将来負担額を上回る充当可能財源の比率 | △ 24.3 | △ 17.4 |
| 大阪府内都市平均<br>(除く政令市)     |        | 30.4   |
| 早期健全化基準                 | 350.0  | 350.0  |

(注) 将来負担額が生じないため、「—」で表示する。

### ＜資金不足比率＞

公営企業ごとの資金不足額が事業規模（料金収入規模）に占める割合。

[企業会計ごとの資金不足額／料金収入×100]

| 区 分       | 平成24年度 | 平成23年度 |
|-----------|--------|--------|
| 水 道 事 業   | —      | —      |
| 下 水 道 事 業 | —      | —      |
| 経営健全化基準   | 20.0   | 20.0   |

(注) 水道・下水道会計とも資金不足額がないため「—」で表示する。